



Veritas No.20(2002.11.22)

目次 (敬称略)

<特集 アジア2>

朝鮮半島に関する蔵書紹介

<トロント大学図書館インターンシップ報告>

矢野 梓、長谷川 玲奈

<オルチン文庫にある「讚美歌集」について その四>

茂 洋

<図書館からのお知らせ>

無断転載を禁ず

<特集 アジア2>

●朝鮮半島に関する蔵書紹介

日本列島と朝鮮半島は、同じく東アジアに属し、玄界灘をへだてて隣接している。それぞれに独自の歴史と文化をもつと同時に、古代以来の交流を通じて深い影響を分かちあってきた。日本と朝鮮との間に結ばれた深いきずなを知ることは、日本の歴史を広い視野でとらえ直し、国境の枠組みを超えて、隣国への身近さを深めることに寄与するであろう。

隣国同士が、本来いかにあるべきか。現在が過去を切り離してはありえないように、私たちの未来も現在と切り離して考えることはできない。二千年余りにわたる日朝交流の歴史をふまえ、その光と影を直視し、21世紀の隣国同士の新しい関係を考える。そのために、本学所蔵の朝鮮関係図書の中から選んで紹介することにした。

新しい未来の扉を開くため、みなさんがこれらの本を大いに活用されることを願っている。

館長 真栄平 房昭

☆アジア歴史研究入門 第2巻 中国2・朝鮮 同朋舎出版 1983.11 島田虔次ほか編集
950/DO1/V.2 [新館]

☆異邦人は君ヶ代丸に乗って 朝鮮人街猪飼野の形成史 (岩波新書) 岩波書店 1985.8 金賛汀
著
080/IW1D/V.311 [新館] [3階文庫棚]

☆越境する民 近代大阪の朝鮮人史研究 新幹社 1999 杉原達著
323/SU12 [新館]

☆梶村秀樹著作集 1~6、別巻 明石書店 1990-93 梶村秀樹著, 梶村秀樹著作集刊行委員会・
編集委員会編
955.6/KA4/V.1 - 7 [新館]

☆韓国女性文学研究 1 御茶の水書房 1997.12 青柳優子著
895/AO1/V.1 [新館]

☆(資料)朝鮮民主主義人民共和国 『資料・朝鮮民主主義人民共和国』刊行会 1990.5 若林熙,
唐笠文男編著
955.6/WA1 [新館] [大型本]

☆図説朝鮮と日本の歴史 光と影 前近代編 (見る!読む!歴史・民俗シリーズ) 明石書店
1994.9 久保井規夫著
955/KU11/V.1 [新館]

- ☆図説朝鮮と日本の歴史 光と影 近代編 (見る!読む!歴史・民俗シリーズ) 明石書店
1994.9 久保規夫著
955/KU11/V.2 [新館]
- ☆中国・朝鮮音楽調査紀行 (東洋音楽選書) 音楽之友社 1970 田辺尚雄著
780.95/TO1/V.11 [新館]
- ☆朝鮮奥地紀行 1 (東洋文庫) 平凡社 1993.12 イサベラ・バード著
080/HE1A/V.572 [新館]
- ☆朝鮮奥地紀行 2 (東洋文庫) 平凡社 1994.1 イサベラ・バード著
080/HE1A/V.573 [新館]
- ☆朝鮮を知る事典 平凡社 1986.3
955.6/IT1 [新館]
- ☆朝鮮史の女たち 筑摩書房 1987 成律子著
920.7/SO3 [新館]
- ☆朝鮮戦争全史 岩波書店 2002.3 和田春樹著
955.6/WA3 [新館]
- ☆朝鮮の料理書 (東洋文庫) 平凡社 1982.12 鄭大声編訳
080/HE1A/V.416 [新館]
- ☆朝鮮美の探究者たち 未来社 1992.8 韓永大著
709/HA12 [新館]
- ☆日中・日朝関係研究文献目録 増補改訂 国書刊行会 1996.8 石井正敏, 川越泰博編
018/IS1 [新館]
- ☆入門韓国の歴史 国定韓国中学校国史教科書 明石書店 1998.11 石渡延男監訳
955.6/AK2 [新館]
- ☆板門店 統一への対話と対決 (中公新書) 中央公論社 1987.12 菊池正人著
080/TY1A/V.863 [新館] [4階文庫棚]

<書名五十音順>

<トロント大学図書館インターンシップ報告>

矢野 梓、長谷川 玲奈 総合文化学科2年生

今年の夏、私達は約3週間のトロント大学図書館での研修を、数多くあるトロント大学図書館の中で最も大きいRobarts Library (<http://www.library.utoronto.ca/robarts>) で主に行いました。期間中、幾つかの部署・図書館を訪れ、それぞれの説明を受け、実際の体験もまじえながら、北米で最大規模と言われる図書館について学びました。

まず、研修初日に館長であるMs. Carole Mooreにお会いしました。図書館全体に対するいくつかの質問にお答え頂いた中で印象的だったのは、図書館の環境を更に改善するためには何をすれば良いか、それぞれの部門がいかにかうまく連結しているかなど、図書館全体の方針が非常に明確であることでした。

Preservation Departmentでは、本の修復、製本、保存がされています。驚くことに、本の保存には和紙が重宝されていました。製本技術はデジタル化された絶版本を新たに製本する時や、傷んだ本を製本し直す時に必要とされます。また、各種類にあわせて作られた箱に入れられ、適切な温度と湿度の中で本は保存されます。それぞれの作業は興味深く、実際に製本もさせて頂きました。

East Asian Library(東アジア図書館) (<http://www.library.utoronto.ca/east>) には中国、日本、韓国の本が保管されています。東アジア図書館はRobarts Libraryの一部の部署ではなく、独立した図書館であり、本の注文も独自で行い、スタッフには基本的な修復の知識も必要とされます。

トロント大学図書館では、多くの絶版本や歴史的にも貴重な本が保管されているため、世界各国から研究資料として頻繁に注文を受けます。こうした本を図書館側がスキャンし、それをコンピュータに取り込み、その後データからプリンティング、バインディングの過程を経て本を完成させる作業を行うのが、Digitization Departmentです。また、大学内で学生が研究対象の本や雑誌をいつでもオン・ラインで見ることが出来るように、それらのデータをコンピュータに取り込むといった作業も行われています。トロント大学で一番古い校舎

その他の短い時間に、様々な障害に合わせたコンピュータが使用できるようになっているATRC(Adaptation Technology Resource Center)、そして、学生が教師になるための本や実際に教育実習をするために必要な教材などが置かれたOIGE(Ontario Institute for Studies in Education)などの部署へも見学することが出来ました。

こうしてインターンシップ・プログラムに参加して、私たちは日本と海外では図書館の目的意識に差があることを実感しました。トロント大学をはじめ、海外図書館の改善への考慮と実行力、そして学生一人一人の情報を得る権利を最大限に尊重する姿勢を実際に知り、体験できたことは、それまでの大学図書館についての見方を変える、貴重な経験でした。

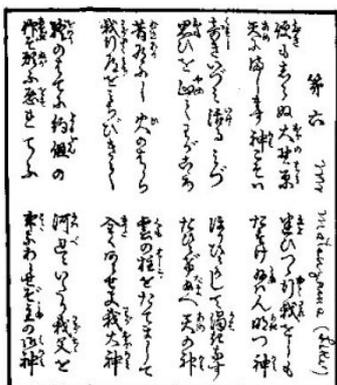


<オルチン文庫にある「讃美歌集」について その四>

茂 洋 本学名誉教授

明治初期讃美歌の中でもっとも早く出版された讃美歌集「無題」(06)の讃美歌(摂津第一基督公会・現在の日本基督教団 神戸教会の讃美歌集)は、八曲ありますが、その初めの三つは、横浜の長老派教会から来た讃美歌でした。後の五つの讃美歌は神戸で作られたもので、そのうちの二つ、つまり06-04と06-05とは前の号で説明しました。

今度は、06-06, 06-07と06-08の三曲を紹介しましょう。この三つの讃美歌の歌詞は、大変格調の高い七五調の日本語です。とくにはじめの二つ06-06と06-07は、松山高吉の作とされています。彼は幼少より国学を修め、はじめはキリスト教を有害なものと考え、関貫三という偽名で、神戸への最初の宣教師グリーンの日本語教師となりましたが、導かれて摂津第一基督公会で最初に洗礼を受けた人物です。そこで讃美歌を作り、また聖書の翻訳(文語訳聖書)に大きな貢献をしました。

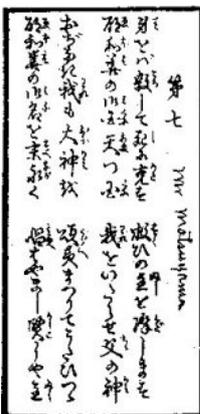


たづきもしらめおほのはら
 まよいつつゆくわれをしも
 あめにましますかみこそほ
 たすけたまわんあきつかみ
 くすしきいづみいけるかみ
 ほりひらかしてかわきなす
 おもいをやめてわがごころ
 たいらけたまえあめのかみ
 むかしありにしひのはしち
 くものはしちをたてまして
 わがゆくみちをみちびきて
 またくあらせよわがおおかみ
 おわりのはてによるだんの
 かわべにいたりわがちちを
 あおぎぞねがうおそれちよう
 ことなあらせよしゆのみかみ

見事な七五調の日本語ですね。そして内容は、花鳥風月を取り入れています。オルチンさんの書き入れに、ミスターマツヤマ（セキ）と書かれています。それは、関貫三という名前で、松山さんがキリスト教に侵入したからです。松山さんは、その後この詩に手を入れて、より美しい日本語にしています。この詩も、明治15年の15-80では、次のようになっています。一節だけを見てください。

たづきもしらめ おほのはら
 まよいつつゆく われをしも
 ふかきめぐみの かみをこそ
 たすけたまはめ いけるかみ

次に06-07を見てみましょう。これも見事な七五調です。06の讚美歌集では、独立して第七になっていますが、その後出版された組合教会最初の讚美歌「無題」09では、はじめの06-06とこの06-07とを合わせて一つの讚美歌09-25となり、そのまま15の讚美歌集15-80となっています。



みおほごらしてしにかたす
 すくいのぬしをくだします
 えほほのみくにあまつくに
 われをいたらせちぢのかみ
 おぢなきわれもおおかみを
 たぢえまつりてうたいつ
 えほほのみなをすえながく
 となえほやましかしこしやぬし

これも七五調で、Webb の曲で歌われました。ただ詩については、15-78 では、松山さんが手を入れたのでしょうか。次のように変わっています。一節だけ記します。

むばたまのよも	ほのぼのと
しのめあくる	あしたより
あをひとぐさの	まごころに
くゆればつみも	きえぬめり

<図書館からのお知らせ>

お待たせいたしました！

インターネットから図書館の図書・雑誌の検索ができるようになりました

これまで学内 LAN 接続のパソコンからしかできなかった図書館所蔵資料のオンライン検索（OPAC）が、今夏のシステム入れ換えによって、学内外どここのパソコンからでもできるようになりました。自分の部屋からインターネットカフェから、朝の6時でも夜の12時でも、図書も雑誌も検索できます。そして貸出中かどうかもわかります。どうぞご利用ください。

（メンテナンス等のためのサービス休止予定はその都度 図書館からのお知らせに掲載します。）